

会 議 録

会 議 名	平成 27 年度第 2 回八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会	
日 時	平成 27 年 7 月 21 日（火） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分	
場 所	八王子市役所 議会棟 第 6 委員会室	
出 席 者 氏 名	委 員	井上仁会長、中込順子副会長、青木訓行委員、荒井容子委員、石田健太郎委員、内野彰裕委員、岡崎理香委員、栗本正男委員、後藤高浩委員、小林千里委員、田口勝美委員、辰田雄一委員、立石晴美委員、田中伸幸委員、中嶋美和委員、西村高志委員、宮崎豊彦委員（会長、副会長、以下五十音順）
	関連所管	中野目南大沢保健福祉センター館長、井上生涯学習政策課長
	事 務 局	小澤子ども家庭部長、平塚子どものしあわせ課長、久間保育対策課長、澤田保育幼稚園課長、橋本子育て支援課長、佐藤児童青少年課長、福田子ども家庭支援センター館長、小池課長補佐、本間主査、川上主査、稲田主査、國井主査、井垣主査 他
欠 席 者 氏 名	塩澤伸久委員	
議 題	<p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 分科会の進め方について（公開・非公開、H27 の進め方等） 2 第 3 次八王子市子ども育成計画「ビジョン すくすく☆はちおうじ」について <ol style="list-style-type: none"> ① 子ども・子育て支援事業計画の進捗について ② 14 の重点施策の推進について ③ 施策推進のための方針策定等について 3 「子どもにやさしいまちづくり部会」の設置について 4 認定こども園の認定に係る事務の移譲について <p>報告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 少子化対策等における国の動向について 2 平成 27 年度子ども・子育て支援関連予算の概要について 3 市立津久田保育園の新園舎開設について 4 大横保健福祉センターの新館開設について 5 子育て支援員研修について 6 平成 27 年度子ども意見発表会について <p>その他</p>	

公開・非公開の別	公開
非公開理由	
傍聴人の数	2名
配付資料名	<ul style="list-style-type: none"> ○児童福祉専門分科会の進め方について ○八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会運営要綱 ○子ども・子育て支援事業計画の進捗について ○14の重点施策の推進について ○施策推進のための方針策定等について ○「子どもにやさしいまちづくり部会」の設置について ○認定こども園の認定に係る事務の移譲について ○少子化対策等における最近の国の動向 ○平成27年度子ども・子育て支援関連の予算の概要 ○平成27年度子ども意見発表会 <p>別添</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども・子育て支援新制度なるほどBOOK ○八王子市立津久田保育園要覧 ○大横保健福祉センター案内 ○子育て支援員研修案内 ○平成27年度子ども家庭部事業概要
会議の内容	別紙のとおり
会議録署名人	平成27年12月25日 荒井容子

1 開会

【井上会長】第2回児童福祉専門分科会を開会いたします。

議事次第に従いまして進めます。事務局から説明をお願いします。

2 議事

(1) 児童福祉専門分科会の進め方について

【平塚子どものしあわせ課長】それでは、児童福祉専門分科会の進め方について説明させていただきます。

(資料「児童福祉専門分科会の進め方について」「八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会運営要綱」について説明)

【井上会長】分科会の公開・非公開については原則公開で、内容によっては非公開となります。特に認可の部会は非公開になることが多くなるかと思いますが、部会については部会長にお任せしたいと思います。議事録については、皆さんに確認していただいたうえでホームページに公開することになります。この分科会については、前の審議会と同様の役割を担いますので、報告を受けつつ全体で決めていくこととなりますが、3年間というスパンの中で八王子の様々な課題を検討いただくようになろうかと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 第3次八王子市子ども育成計画「ビジョン すくすく☆はちおうじ」について

①子ども・子育て支援事業計画の進捗について

【平塚子どものしあわせ課長】(資料「子ども・子育て支援事業計画の進捗について」について説明)

【井上会長】事業計画では、27年度にひろば事業を公設公営保育園全てで実施とありますが、実際とのかい離はどの程度ありますか。また、年度途中に移行していく計画はありますか。

【久間保育対策課長】事業計画どおり、4月から全園で実施となりました。

【井上会長】わかりました。放課後児童健全育成事業で放課後子ども教室との連携を図るうえで、八王子型で新しい打出しなどはありますか。現段階での教育委員会との連携はどのようになっていますか。

【平塚子どものしあわせ課長】その件については、次の議事、重点施策で説明します。

②14の重点施策の推進について

【平塚子どものしあわせ課長】（資料「14の重点施策の推進について（重点施策1.子どもの権利を大切に作る取り組み）」について説明）

【井上会長】取組の中に、「各月1回児童相談所との支援方針会議を実施」とありますが、要保護児童対策地域協議会のことですか。それとも中核市として児童相談所設置に向けて定期的に会議をしているのですか。

【平塚子どものしあわせ課長】計画上の取組で説明した児童相談所設置の調査研究については、まだアクションを起こしていないので、いま説明した支援方針会議とは要保護児童対策地域協議会のことになります。

【井上会長】それならば育成計画の中身にそぐわないので削除したほうが良いと思います。八王子市は中核市となり児童相談所の設置ができることとなりましたが、八王子市としてどうするかはまだ決まっていません。前審議会でもこの件は慎重に取り組むよう答申しました。現段階では、職員の皆さんに学んでいただいている状況だと認識しています。

委員の皆さんから何か意見はございますか。

【岡崎委員】子ども条例の制定ですが、どの程度検討されているのでしょうか。条例制定であれば準備に相当な時間が必要ですが、具体的なスケジュールは検討していますか。

【平塚子どものしあわせ課長】まだ明確には決まっていませんが、5年計画の中期的な時期が一つの目安かと考えています。

【井上会長】新たに設置する部会とも関連していますので、後ほど説明してください。

【佐藤児童青少年課長】続きまして、重点施策2、社会性や豊かな感性を育む体験機会の充実について説明します。

（資料に沿って内容を説明）

【井上会長】多世代との交流がこれらの企画の中にも含まれるものはありますか。

【佐藤児童青少年課長】児童館では、中学生・高校生たちが実行委員会形式で企画立案していく過程で小学生の考えを取り入れたり、地域の中で大人が子どもに関わりながら一緒に活動したりしています。

【井上会長】異世代交流の仕組みで計画が進んでいると、わかりやすく示していただきたいです。前身の審議会では、八王子の文化を次世代に伝えていくために、児童館の活動に地域の方々を引き込んだほうがよいという意見もありました。多世代交流をしているので

あれば、もっと前面に出していただきたいと思います。

【小林委員】児童館のイベントなどは昨年も開催していると思いますが、内容について変わった点はありますか。

【佐藤児童青少年課長】取組内容はあまり大きく変わっていません。

【小林委員】重点取組として位置づけられ、充実していくイメージがありましたか。

【佐藤児童青少年課長】いくつかの課がこの施策に関わっていますが、児童館について言えば、ここ数か月で新しい動きはありません。これから動いていこうと考えています。

【平塚子どものしあわせ課長】補足いたしますと、推進の考え方に、「本市の特色を活かした子どもの体験活動の充実」を挙げています。育成計画では木育などで八王子らしい子どもの体験活動の充実を図っていくとしており、新しい取組として、今年度は、単年度ではありませんが、観光課と共同で八王子産の木材を活用した事業や、できればツリークライミング、木のおもちゃを使ったイベントなどを企画しております。今年度の後半の事業になりますので、内容が決まりましたら分科会で詳細を報告します。

【澤田保育幼稚園課長】続きまして、重点施策3、乳幼児期の教育・保育の質の向上について説明します。

(資料に沿って内容を説明)

【井上会長】教育・保育従事者研修はどのような内容で行いましたか。

【澤田保育幼稚園課長】「ぼくらの八王子」を作曲したたにぞうさんを招いて行いました。

【井上会長】公立保育園のあり方やガイドラインについては、部会で検討をお願いします。一定のめどが立ちましたら、部会から分科会に報告をお願いします。

【平塚子どものしあわせ課長】続いて、重点施策4、保・幼・小連携の推進について説明します。

(資料に沿って内容を説明)

【井上会長】最終的には何チームになるのですか。

【平塚子どものしあわせ課長】小学校をベースにしているので69です。

【井上生涯学習政策課長】続きまして、重点施策5、放課後の健やかな育ちを支える活動場所の充実について説明します。

(資料に沿って内容を説明)

平成25年度から、第九小学校で、試行的に学童保育所の運営主体が放課後子ども教室も運営しており、検証で効果が認められました。そこで、27年度からは、横川小学校で

もこの方式による事業を始めています。地域の状況にもよりますが、今後も学童保育所の運営主体と放課後子ども教室の運営主体が連携した取組を進めていきたいと思っています。

【佐藤児童青少年課長】関連しまして、重点施策6、保育環境の整備・拡充による待機児童解消（学童保育所）について説明します。

（資料に沿って内容を説明）

【井上会長】学童保育と放課後子ども教室の連携のあり方をどうするのか、以前の審議会でも様々な論議がありましたが、今年度はどのように連携をしていますか。

【井上生涯学習政策課長】地域の事情を踏まえつつ、学童保育所の運営主体と放課後子ども教室の運営主体が連携して運営していく、それが可能かどうか検討しています。もう一点、学校の状況によりますが、学校の空き教室・余裕教室を活用できるよう、校長への説明や働きかけなどを共同で行っています。

【井上会長】モデルができてきた中で、教育と福祉が歩み寄っていかないと、一番需要が高いところを取り残されてしまうおそれがあるので、今年度中に両課で協議して形を作ってもらいたいです。せっかく一歩踏み込んでいただいているし、今回の計画でも目玉になっていますので、よろしくお願いいたします。

【久間保育対策課長】では次に、重点施策6、保育環境の整備・拡充による待機児童解消（保育施設）について説明します。

（資料に沿って内容を説明）

【井上会長】予定よりも多い数で進んでいるのですか。

【久間保育対策課長】計画段階では事業所内保育施設の見込みがありませんでした。事業所内保育施設には地域枠も設けられることもあり、市内の企業に新設するよう働きかけたところ、2施設から希望があり、施設整備を進めています。今年度も4月から1園開設しています。

【中野目南大沢保健福祉センター館長】続いて、重点施策7、妊娠期からの切れ目ない相談・支援体制の充実について説明します。

（資料に沿って内容を説明）

【福田子ども家庭支援センター館長】関連しまして、重点施策8、子育てひろばの充実、重点施策9、利用者支援の充実について説明します。

（資料（ハローベビーサポートの資料を含む）に沿って内容を説明）

ハローベビーサポートのサービス終了後も、ネグレクトや家庭状況が不安定で支援が必

要と認められる家庭には、養育訪問支援サービス等別途対応しております。

【井上会長】どこの自治体でも保健部門と福祉部門との連携が切れ目のない支援のポイントとなります。八王子市も、子ども家庭支援センターと保健福祉センターが連携しないとできない事業が多く挙がっていますが、実際どのように動いていますか。定期的に情報交換するような仕組みはありますか。

【福田子ども家庭支援センター館長】若年の妊娠や望まない妊娠などの支援が必要な特定妊婦については、保健福祉センターと連携して、産まれる前からきめ細やかな支援をしています。

【井上会長】ブックスタートについてはどうなっていますか。

【中野目南大沢保健福祉センター館長】保健福祉センターの健診と同時開催で、健診終了後にそのままブックスタートに行く、一体的な運営になっています。両所管の情報交換もしていますし、個別案件はそのつどチームを組んで対応しています。

【平塚子どものしあわせ課長】これまでも必要に応じて担当部署間で会議を行っていましたが、今年度から子ども家庭部、福祉部、医療保険部、健康部の4部で連携会議を立ち上げました。その中で、子ども家庭部と保健福祉センター等で「子ども×母子保健連携会議」を設置し、仕組みを作ることで担当間の連携に取り組んでいます。

【井上会長】今日の資料にその取組は載っていますか。

【平塚子どものしあわせ課長】庁内の連携強化のことなので特にありません。

【井上会長】このような連携の取組は、市が育成計画を進める体制を整えてるということなので、市民にそれを報告していただくことは大事なことだと思います。今後、効果の検証も含めて報告をしていただけるようお願いいたします。

【平塚子どものしあわせ課長】先ほどの母子保健から始まる3つの重点施策のうち、利用者支援については、妊娠期は保健師の関わりが大きく基本的に母子保健型、そこから子育てひろばなどの基本型の利用者支援に連携しながら移行していき、それと並行して保育園入所などの相談支援体制の特定型を実施するという構想で、平成28年度から再構築して進めていく取組をしています。これらにハローベビーサポート等を含め、妊娠・出産包括支援事業ということで、八王子型の仕組みとして、体制強化を含めて事業体系を整理しているところです。

【井上会長】このマネジメントを担うのは子ども家庭支援センターになりますか。

【平塚子どものしあわせ課長】全体としては、政策を担っている医療保険部と子ども家庭

部の政策担当である子どものしあわせ課で調整していくことになります。要保護とか要支援という実務的なことは、別に既存の枠組みがありますので、そこで対応します。

【井上会長】委員の皆さんから質問はありませんか。

【石田委員】公立保育園の子育てひろばの利用状況はどうなっていますか。また、9時から12時という時間帯に決定した理由は何ですか。

【澤田保育幼稚園課長】午前中に設定した理由ですが、午後になると午睡の時間に入ってしまうためです。利用状況についてはばらつきがあります。

【石田委員】拡大していく予定や、利用者のニーズ調査をふまえて変更していくことは考えていますか。例えば午睡が終わってから始めるということは難しいのでしょうか。

【澤田保育幼稚園課長】変更の予定はありませんが、もっと周知をして、利用者を増やしていきたいと考えています。

【井上会長】午睡のために12時までというのは、市のガイドラインに基づいてですか。

【小澤子ども家庭部長】ガイドラインではありません。公立保育園のひろば事業は、既存の施設をそのまま利用できる範囲で行っています。現在、ホールを使ってひろば事業を行っていますが、ホールは午後から別のことに使うことが多いため、午前のみの実施としています。今後については、様子を見ながら保育園の防犯面も考慮しつつ考えていきます。

【井上会長】時間的に制約されると市民の方は行きにくいです。予算の問題もあるでしょうが、保育園の施設整備計画のガイドラインの中にひろばを明確に位置づけていただいて、施設面でのバリアがかからない仕組みを検討していただくようお願いします。

【澤田保育幼稚園課長】参考にさせていただきます。

【平塚子どものしあわせ課長】続いて、重点施策10、地域をつなげる子育て情報の発信について説明します。

(資料に沿って内容を説明)

【井上会長】モバイルサイト、SNS、ホームページ、それぞれリンクしているのですか。また、子育て、保健福祉センター、生涯学習の各ページの連携はできているのですか。

【平塚子どものしあわせ課長】モバイルサイトとSNSは、ホームページにリンクを貼っています。ホームページの中では、母子保健については子ども家庭と同じ分類に含め、一定程度連携できていますが、他は一度トップページまで戻る必要があります。

【井上会長】子育ての分野だけで独立できないのですか。

【平塚子どものしあわせ課長】検討していますが、様々な制約があるのですぐには難しい

です。

【井上会長】今年から始めたのは「はち☆ベビ」ですか。

【平塚子どものしあわせ課長】今年から始めたのは、施策10とはやや違いますが、ベビーカーを貸し出す「はち☆ベビレンタル」です。子育てしやすいまちの推進ということで6月から始めました。今後の利用状況によって台数を増やすことも考えています。今のところ1日平均1～2台の利用があります。

【福田子ども家庭支援センター館長】続いて、重点施策11、児童虐待の予防や早期発見・早期対応の充実について説明します。

(資料に沿って内容を説明)

【井上会長】自ら出向いて支援する、「アウトリーチ」は何かお考えですか。

【福田子ども家庭支援センター館長】心配な家庭には、相談員が保健福祉センターの保健師と一緒に行って様子を伺っています。お母さんに精神的なケアが必要なこともありますので、その場合は保健所の方を同行して支援をしております。電話だけではなく、直接伺うようにしています。

【井上会長】そのあたりを年度末に数字で見えるようにしてください。相談受付の内訳だけだと、アウトリーチ型なのかわからないので、連携型でアウトリーチしたことをわかりやすく資料化して、効果を測定できるようにしていただけるとありがたいです。そうするとさまざまなことが見えてくると思います。

【澤田保育幼稚園課長】続いて、重点施策12、障害の早期発見・早期支援の充実について説明します。

(資料に沿って内容を説明)

【井上会長】島田療育センター等、デイサービス施設との連携はしていますか。

【澤田保育幼稚園課長】しております。

【橋本子育て支援課長】続いて、重点施策13、ひとり親家庭の就業・自立支援の充実と、重点施策14、子どもへの教育・生活支援の推進を一括して説明します。

(資料に沿って内容を説明)

【後藤委員】養育費講座というのは、具体的にどのような内容のものですか。

【橋本子育て支援課長】養育費の取り決めをされないまま離婚される方が多いため、養育費に関する個別の相談を受けたり、公正証書の作成のことなどをお話したりという内容になります。

【井上会長】国の制度がバラバラに立ち上がっていることもあります。生活保護世帯だけとか、ひとり親世帯だけとか、そういうラベルを貼らない、子どもたちみんなのための仕組みを考えてほしいです。そこに参加することによって子どもたちが差別感を感じないような工夫をしてほしい。子どもにやさしいまちというのが今回のビジョンの大きな柱なので、子どもたちにやさしい仕組みを作らないと、参加するのが辛くなってしまいます。

【小澤子ども家庭部長】学習支援は、平成22年から生活保護受給世帯の中学2～3年生を対象に始めたのですが、今回、対象者を生活保護受給世帯に加え児童扶養手当全部支給世帯の中学生全学年まで拡大したところ、想定を上回るほど多く申し込みがありました。一方で、参加できない、しない子どももいますから、そのような子どもたちに対してどのように対応するかも考えないといけません。場を用意するだけでは不十分だと感じたところ。生活自立支援課とよく連携して詰めていきたいと思います。

【井上会長】八王子市は広いので、中学校区ごとに開催できるとなご評価されるのではないのでしょうか。

【岡崎委員】ひとり親支援の「なんでもチャレンジ」は、内容がひとり親の子だけでなく楽しめるものだと思いますが、試行時の申し込み状況はいかがでしたか。

【橋本子育て支援課長】周知が十分行き届かなかったせいか、参加者は3名だけでしたが、アンケートでは非常に好評で、ぜひ今後も継続してほしいとの回答をいただいています。また、ひとり親家庭の子ども以外でも、とのことですが、ひとり親家庭では、なかなか子どもにこのような体験学習をさせる機会を持ちづらい特殊性がありますので、少しでも支援ができれば、という考えで実施しております。

【岡崎委員】対象である小学校5～6年生という時期は、精神的に敏感で難しい年代ですから、少し複雑な思いで聞いておりました。

【小林委員】仲のいい友達と行きたい、と子供も思うでしょうから、参加のしやすさも考える必要があるかもしれません。

【井上会長】せっかくいい思いを持って実施しているのですから、あとは子どもにひとり親家庭の子どもだ、という目で見られないで済むような、つらい気持ちを抱かせないような工夫をしていただければと思います。

重点施策について、ここまで話してきましたが、全体を通して委員の皆さんいかがでしょうか。

【石田委員】学生のインターンシップなどを利用して、学生の力をこういった事業にも展

開すれば、対象者も特定の子どもだけではなく、広く受け入れ可能になるのでは、と思います。

【小澤子ども家庭部長】学習支援については、学生のボランティアの力も借りています。そのほかの事業についても、そういった考えも含めて調整したいと思います。

【井上会長】八王子には教育系の大学が多くありますので、その資源を使わない手はないと思います。ぜひご検討いただければと思います。

③施策推進のための方針策定等について

【平塚子どものしあわせ課長】（資料「施策推進のための方針策定等について」について説明）

【井上会長】若者支援という点では、ぜひ児童福祉という枠を外して、取り組んでいただきたいと思います。世田谷区のような先進的な自治体もあります。就労支援だけではない支援が大事になってくるかと思っています。

続いて、子どもにやさしいまちづくり部会の設置について、事務局から説明をお願いします。

(3)「子どもにやさしいまちづくり部会」の設置について

【平塚子どものしあわせ課長】（資料「子どもにやさしいまちづくり部会」について説明）

【井上会長】子どもの参画、子どもによる評価、子どもの安全安心を守るという仕組みを八王子型でどう考えていくか、ビジョンの具体化を図っていくというところで、提言をしていくことになろうかと思っています。このような部会設置に係る提案ですが、皆さんに諮ってご了解いただければ、その後委員のお願いをしてみたいと思います。本日のところは、部会設置についてのみお諮りいたします。何かご意見ございますでしょうか。

部会を設置するというところでよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

【井上会長】では、設置することといたします。

続きまして、認定こども園の認定に係る事務の移譲について、事務局から説明をお願いします。

(4) 認定こども園の認定に係る事務の移譲について

【久間保育対策課長】（資料「認定こども園の認定に係る事務の移譲について」について説明）

【井上会長】認可部会で条例素案について議論していただき、10月開催予定のこの分科会にて報告を受けるような形で進めたいと思います。部会のほうで議論するということがよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

【井上会長】では、よろしく願いいたします。

議事は以上になります。次に報告事項に移ります。

3 報告

【平塚子どものしあわせ課長】では、時間の関係もありますので、私から手短に一括して説明いたします。

（資料「少子化対策等における最近の国の動向」、「平成27年度子ども・子育て支援関連の予算の概要」、「平成27年度子ども意見発表会」、「八王子市立津久田保育園要覧」、「大横保健福祉センター案内」、「子育て支援員研修案内」、「平成27年度子ども家庭部事業概要」について説明）

【井上会長】8月30日の子ども意見発表会では、発表会後にこの分科会委員と子どもたちの意見交換の場を設ける予定です。子どもの意見を直に聴く貴重な機会ですので、委員の皆さんはぜひご出席ください。

では、本日はこれで終了します。